

「おはな ぷかぷか」で、地域の草花を見つめる

自然・環境再生研究部 コミュニケーションデザイン研究グループ 八木 剛



子どもたちが好きな花を摘んで、水を張ったボウルに浮かべて楽しむ遊びを、「おはな ぷかぷか」と名付けました。

2023年3月から11月にかけて、兵庫県内の29の幼稚園・保育園・認定こども園などが32箇所の園庭や公園で「おはな ぷかぷか」を41回実施し、約1400人の子どもたちにより191点の作品ができました。その中には200種類を超える植物が含まれていました。

これらの作品群は、ある地域の現時点での植物相の記録です。生物の種構成は、地域によって異なり、時代とともに（とりわけ人の介在によって）変化します。100年前に「おはな ぷかぷか」してたらどうだったのかな？ 100年後はどうなってるのかな？ 考えるのも楽しいですよ。



「おはな ぷかぷか」を実施した場所

兵庫県北部では実施できなかった。ひとくはくスタッフが訪問しての実施が多いが、園独自で実施し写真を提供いただいた場合もあった。写真は、神戸大学附属幼稚園(明石市・2023年4月24日)にて。



1位

23箇所
シロツメクサ



2位

20箇所
カタバミ



3位

19箇所
外来タンポポ



4位

13箇所
コメツブツメクサ



5位

12箇所
オオイヌノフグリ



「おはな ぷかぷか」に高頻度で出現した草花

実施した32箇所のうち出現した箇所数の上位5種類。通年花が咲く種類のほか、春期の実施が多かったため春咲きの植物が多く出現した。



姫路市立形こども園 (4月18日)



恵泉保育園 (淡路市・4月27日)



佐用町立南光保育園 (5月16日)



佐用町立利神保育園 (5月18日)



蓮池こども園 (播磨町・9月26日)



深田公園 (三田市、10月18日)
芦屋市立緑保育所が遠足時に実施

「おはな ぷかぷか」の作品例

ポリプロピレン製のボウル(フレイクボウルM ホワイト・直径約225mm、深さ約110mm)に水を張って浮かべたもの。佐用町立南光保育園は園の周辺で、芦屋市立緑保育所はひとくへの遠足来館時に公園で実施した。その他は園庭で実施。日付はすべて2023年。